

令和3年度 環境中のダイオキシン類の調査結果について

ダイオキシン類対策特別措置法第26条に基づき、令和3年度に奈良市が実施した環境中の大気、水質、土壌等のダイオキシン類の調査結果は、次のとおりです。

環境媒体	地点数	平均値	濃度範囲	環境基準
大気 (一般環境)	2	0.012	0.0094 ~ 0.019	0.6
公共用水域水質 (河川)	2	0.13	0.11 ~ 0.14	1
公共用水域底質 (河川)	2	0.30	0.22 ~ 0.37	150
地下水質	2	0.065	0.059 ~ 0.070	1
土壌 (一般環境)	1	0.022	—	1,000

(単位：大気 pg-TEQ/m³
水質 pg-TEQ/L
底質 pg-TEQ/g
土壌 pg-TEQ/g)

環境中の大気、公共用水域水質、公共用水域底質、地下水質、土壌のダイオキシン類について、市内9地点で調査を実施した。
その結果、大気、公共用水域水質、公共用水域底質、地下水質、土壌の全地点において環境基準を達成していた。

測定方法

大気

「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」

(平成20年3月環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室、大気環境課)

公共用水域水質及び地下水質

JIS K 0312

(工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法)

公共用水域底質

「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」

(平成21年3月環境省 水・大気環境局水環境課)

土壌

「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」

(平成21年3月環境省 水・大気環境局土壌環境課)

用語解説

- ・ダイオキシン類
 ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF) 及びコプラナーポリ塩化ビフェニル (コプラナーPCB) の総称
- ・pg (ピコグラム)
 g (グラム) の 1 兆分の 1 の重量を表す単位
- ・TEQ (毒性等量)
 ダイオキシン類の実測濃度にTEF (ダイオキシン類の異性体の中で最も毒性の強い 2, 3, 7, 8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (2, 3, 7, 8-TCDD) の毒性を 1 としたときの他の異性体の相対的な毒性) を乗じて合計したもの

【参考】

全国における環境中のダイオキシン類濃度の状況
 令和3年度ダイオキシン類に係る環境調査結果 (令和5年3月環境省)

単位 : 大気 pg-TEQ/m³
 水質 pg-TEQ/L
 底質 pg-TEQ/g
 土壌 pg-TEQ/g

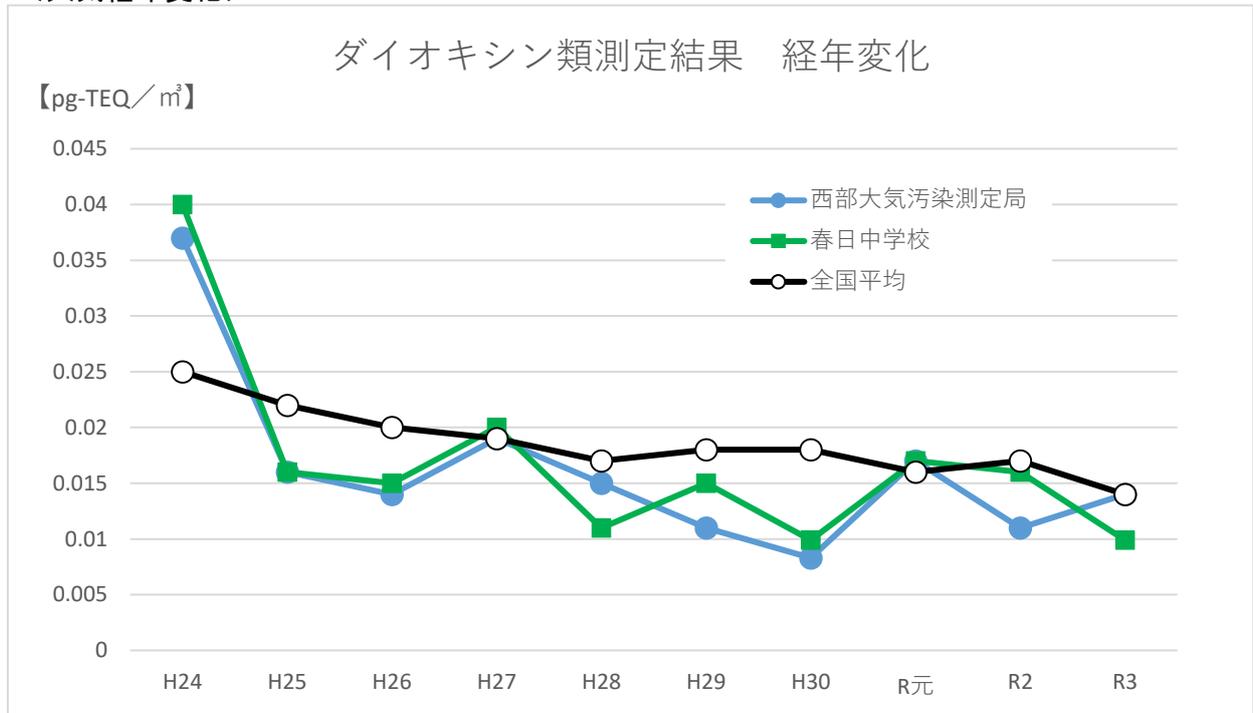
環境媒体	地点数	平均値	濃度範囲	環境基準
大気 (一般環境)	450	0.014	0.0022 ~ 0.025	0.6
公共用水域水質 (河川)	1,066	0.20	0.013 ~ 2.5	1
公共用水域底質 (河川)	868	5.4	0.058 ~ 430	150
地下水質	467	0.053	0.00028 ~ 0.67	1
土壌 (一般環境)	513	2.5	0.00034 ~ 200	1,000

ダイオキシン類（大気）調査結果（令和3年度）

（単位：pg-TEQ/m³）

調査地点	調査月	7月	1月	平均値	環境基準
西部大気汚染測定局 （百楽園四丁目）		0.0094	0.019	0.014	0.6
奈良市立春日中学校 （西木辻町）		0.0098	0.010	0.0099	

<大気経年変化>



ダイオキシン類（公共用水域（水質・底質））調査結果（令和3年度）

（単位：水質 pg-TEQ/L）
（底質 pg-TEQ/g）

調査地点	調査月	水質 （環境基準：1）	底質 （環境基準：150）
大和川水系（佐保川） 打合橋（西九条町）	10月	0.11	0.37
淀川水系（布目川） 鷺千代橋（興ヶ原町）	10月	0.14	0.22

ダイオキシン類（地下水質）調査結果（令和3年度）

（単位：pg-TEQ/L）

調査地点	調査月	調査結果	環境基準
二名一丁目	10月	0.059	1
三碓六丁目	10月	0.070	

ダイオキシン類（土壌）調査結果（令和3年度）

（単位：pg-TEQ/g）

調査地点	調査月	調査結果	環境基準
三条川西町（三笠中学校）	10月	0.022	1,000